

日本心理学会第 86 回大会 学術大会優秀発表賞 第 2 次審査講評

審査グループ：A (1AM)

取りまとめ役：坂上 貴之 (慶應義塾大学)

特別優秀発表賞

該当なし

優秀発表賞

1AM-054-PM

ロボットの涙の社会的シグナル機能——ロボットの涙はサポート意図を引き出す——

*安原 彰子 1、竹原 卓真 2

(1. 同志社大学大学院 心理学研究科、2. 同志社大学 心理学部)

1AM-056-PM

対人関係ストレスの想起による複合感情の生起と扁桃体の活性——磁気共鳴機能画像法による
検討——

*小澤 幸世 1、中谷 裕教 2、宮内 カルロス 3

(1. 東京大学、2. 東海大学、3. 東北大学病院)

1AM-085-PQ

仮想オフィス利用が働く人の精神的健康に及ぼす効果

*松尾 藍 1、原 恵子 2、中村 准子 2、松浦 直樹 3、石田 卓也 3、内山 ゆかり 3、岡田 昌毅
2、松井 豊 2

(1. 北陸学院大学、2. 筑波大学、3. 富士ソフト株式会社)

選考経過

取りまとめ役の 3 票をいれたところ、最多得票 7 が 3 本となり、これらを優秀発表賞の候補
としましたが、3 本の間には大きな差がなかったため、これらから特別優秀発表賞を選ぶことは致
しませんでした。

審査グループ：B（1PM）

取りまとめ役：阿部 恒之（東北大学）

特別優秀発表賞

1PM-058-PL

内受容感覚が思考の熟考性に与える影響——生理心理学的アプローチによる検討——

*櫻木 麻衣 1、梅田 聡 2

（1. 慶應義塾大学大学院社会学研究科、2. 慶應義塾大学文学部）

優秀発表賞

1PM-022-PC

職場における妬み感情の緩和に向けた実証の試み——上司との関係性、感謝の気持ちで過ごす
1週間の力は妬みの増幅を食い止める？——

*山浦 一保 1、大坪 庸介 2、日隈 さつき 1

（1. 立命館大学、2. 東京大学大学院）

1PM-086-PP

小学生の保護者向けいじめ予防プログラムの開発と効果検証

*杉本 希映 1、飯田 順子 2、遠藤 寛子 3、青山 郁子 4

（1. 目白大学、2. 筑波大学、3. 埼玉学園大学、4. 都留文科大学）

選考経過

1. Bグループの審査対象発表は61本であり、得票数の多い順に8票（1本）、7票（1本）、5票（3本）、以降は4票（1本）、3票（4本）、2票（7本）、1票（7本）、0票（36本）となりました。
2. 取りまとめ役の3票は、一位と二位の発表、並びに3位の3本のうちの1本に入れました。よって総合得票数9票（1PM-058-PL）、8票（1PM-022-PC）、6票（1PM-086-PP）が上位3本となり、これらを優秀発表賞の候補としました。
3. 最多9票を得た「1PM-058-PL」の発表が特に優れていると判断し、これを特別優秀発表賞とし、他の2本を優秀発表賞としました。
4. 特別優秀発表賞の「1PM-058-PL」は、振動呈示でもたらされた心拍の変化によって内受容情報が更新され、この内受容感覚の変化を正確に感知することが、マインドワンダリングへの没入を誘発していることを明らかにした研究であり、特に卓越した研究と認めました。
5. 5票で並んだ3本のうちから取りまとめ役の1票を投じて優秀発表賞として選んだ「1PM-086-PP」は、小学生の保護者向けいじめ予防プログラムの開発を行い、その有効性を示したものであり、他の2本よりも優れていると判断しました。

審査グループ：C (1EV)

取りまとめ役：金井 篤子（名古屋大学）

特別優秀発表賞

1EV-062-P0

身体と声色からの視聴覚感情知覚の発達的变化

*山本 寿子 1,2、田中 章浩 1

(1. 東京女子大学、2. 日本学術振興会)

優秀発表賞

1EV-049-PM

自覚ストレスと内受容感覚精度の関係——心拍弁別課題を用いた検討——

*前川 亮 1、笹岡 貴史 1

(1. 広島大学)

1EV-083-PR

ソーシャルサポートの量とバランスが 日本人高齢者の主観的ウェルビーイングに与える影響

*ターン 有加里ジェシカ 1,2、小林 江里香 3、岡本 翔平 3,2

(1. 東京大学、2. 日本学術振興会、3. 東京都健康長寿医療センター研究所)

選考経過

最多得票数 13 票のものを特別優秀発表賞とし、残りの得票数上位から 6 票のものと 5 票のもの 2 本を優秀発表賞としました。

審査グループ：D (2AM)

取りまとめ役：佐藤 隆夫 (人間環境大学)

特別優秀発表賞

2AM-022-PC

2021年衆院選における熟慮的-直観的投票行動——個人と所属集団, 国の未来のための投票——

*楠見 孝 1、西川 一二 1、三浦 麻子 2

(1. 京都大学、2. 大阪大学)

優秀発表賞

2AM-041-PH

視聴覚間の感覚間協応が視覚検出処理に与える影響——タイミング判断課題を用いた検討——

*宇野 究人 1, 2、横澤 一彦 3

(1. 立教大学、2. 日本学術振興会、3. 筑波学院大学)

2AM-060-PM

畏敬経験における身体生理反応の時系列的検討

*高野 了太 1, 2、野村 理朗 3

(1. 東京大学、2. 日本学術振興会、3. 京都大学)

選考経過

1位が8点, 2位が2件同率で7点, 4位以下が4点で3名. 問題無く1位1名を特別優秀, 2位2名を優秀発表賞としました. 取りまとめ役の票を含む結果です.

審査グループ：E (2PM)

取りまとめ役：鈴木 華子 (立命館大学)

特別優秀発表賞

2PM-014-PC

国際比較データを用いた外出自粛理由に関する構造の検討

*石橋 真帆 1、田中 幹人 2、関谷 直也 3

(1. 東京大学大学院 学際情報学府、2. 早稲田大学 政治経済学術院、3. 東京大学大学院 情報学環総合防災情報研究センター)

2PM-067-P0

幼児における間接的要求の理解に対する身振り情報の影響

*三宅 英典 1、関根 和生 2

(1. 金城学院大学、2. 早稲田大学)

優秀発表賞

2PM-040-PG

DNA メチル化と乳児泣き声に対する脳活動の関連

*平岡 大樹 1,2、牧田 快 3、榊原 信子 4、倉田 佐和 1、森岡 茂己 5、折坂 誠 1、吉田 好雄 1、西谷 正太 1、友田 明美 1

(1. 福井大学、2. 日本学術振興会、3. 神戸大学、4. 小田原短期大学、5. 京都第二赤十字病院)

選考経過

上位 8 件 (5 票が 2 件、4 票が 1 件、3 票が 5 件) のポスター発表の抄録及びポスターを審査し、自身の 3 票を使用した結果、2 本の発表が得票数 6 票となり、同列 1 位となった。どちらも全く異なる分野・内容ながら、大変優れた内容となっており、甲乙つけられないことから、2 本を特別優秀発表賞候補として推薦したい。

審査グループ：F（2EV）

取りまとめ役：丹野 義彦（東京大学）

特別優秀発表賞

2EV-019-PC

社会的排斥後の笑顔と食べ物に対する報酬反応——fMRI を用いた検討——

*金子 迪大 1、上田 祥行 1、野村 理朗 1

（1. 京都大学）

優秀発表賞

2EV-077-PS

「心理学研究」誌における「性別」の取り扱いについて

*西尾 優希 1、李 美蘭 1、遠藤 裕乃 1

（1. 兵庫教育大学）

選考経過

1. 最多得票数5票の発表が2本，4票が6本となりました。
2. 5票を獲得した2本を優秀発表賞の候補としました。
3. の上で，この2本から特に優れていると判断した「2EV-019-PC」を特別優秀発表賞とし，他の1本を優秀発表賞としました。
4. 特別優秀発表賞の1本は，社会的排斥についてのfMRIを用いた研究で、特に卓越した研究と認めました。

審査グループ：G（3AM）

取りまとめ役：原田 悦子（筑波大学）

特別優秀発表賞

3AM-035-PI

見えない顔の魅力推定における男女差

*市村 風花 1、森脇 実穂 2、有賀 敦紀 3

（1. 北海道大学、2. 広島大学、3. 中央大学）

優秀発表賞

3AM-004-PC

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う孤独感の地域差

*柳澤 邦昭 1、杉浦 仁美 2、嘉志摩 江身子 3、中島 健一郎 4、八田 紘和、加藤 樹里 5、中井 隆介 6

（1. 神戸大学、2. 近畿大学、3. ラ・トローブ大学、4. 広島大学、5. 金沢工業大学、6. 京都大学）

3AM-073-P0

子どもの読書頻度は感情語の習得に関係するか？

*杉山 恵里奈 1、成松 宏美 2、平井 真洋 1、小林 哲生 2

（1. 名古屋大学、2. NTT コミュニケーション科学基礎研究所）

選考経過

1. 集計時の状態では、得票数5が1本、4が4本であった。独立に評価を行った取りまとめ役の3票を加えたところ、得票数5が4本となった。
2. この4本の内容を精査し、進化心理学的なテーマについて、実験仮説の導出から実験計画、その結果まで一貫した論理に基づき明確な研究成果を報告している[3AM-035-PI]を、特別優秀発表賞とした。また[3AM-004-PC]はCOVID-19感染拡大に関連するデータの時系列変化を地域ごとに見るという優れたデータ分析が高く評価され、また[3AM-073-P0]は感情語彙の獲得という指標を基に社会的課題に取り組む姿勢が高く評価されるとして、この2本を優秀発表賞とした。

審査グループ：H (3PM)

取りまとめ役：三浦 麻子 (大阪大学)

特別優秀発表賞

3PM-048-PI

「向かい合う」より「肩を並べる」方が、相手の気持ちがわかるのか？——自己と他者の身体角度の差が心的視点取得の正確性に与える影響——

*神原 歩 1、武藤 拓之 2

(1. 京都先端科学大学、2. 京都大学)

優秀発表賞

3PM-004-PB

関係流動性とパーソナリティの関連は遺伝か環境か

*山形 伸二 1

(1. 名古屋大学)

3PM-055-PI

ウキウキとルンルンの共演——喜び・怒りを表すオノマトペの多重呈示による印象の極化——

*郷原 皓彦 1,2、米満 文哉 3,4、山田 祐樹 5

(1. 大阪大学、2. 立命館大学、3. 中央大学、4. 日本学術振興会特別研究員、5. 九州大学)

選考経過

最多得票数 11 票の発表が 1 件でしたので、これを特別優秀発表賞としました。取りまとめ役はこの発表に投票しております。ユニークな発想を実験状況にうまく落とし込んで探索的に検証した研究です。今後さらに研究を積み重ねた上での論文化が期待されます。

次点が 4 点で大きく差が開き、また、4 本が該当していました。そのため、取りまとめ役が改めてこれらすべての発表内容を精査し、当日の質疑内容もふまえた上で、2 本を優秀発表賞としました。

審査グループ：I (3EV)

取りまとめ役：片山 順一（関西学院大学）

特別優秀発表賞

3EV-042-PI

絵画の美しさは無意識的に処理されるか？——連続フラッシュ抑制中の視線を計測した検討——

*津田 裕之 1、川畑 秀明 2

(1. 同志社大学心理学部、2. 慶應大学文学部)

優秀発表賞

3EV-074-P0

地域在住高齢者における老年的超越の9年間の縦断変化：軌跡の年齢差と性差

*増井 幸恵 1、中川 威 2、権藤 恭之 3、安元 佐織 3、小川 まどか 3、石岡 良子 4、春日 彩花 3、堀 紀子 1、稲垣 宏樹 1、吉田 祐子 1、井藤 佳恵 1、高山 緑 5、新井 康通 5、池邊 一典 3、神出 計 3、石崎 達郎 1

(1. 東京都健康長寿医療センター研究所、2. 国立長寿医療研究センター、3. 大阪大学、4. O.P. ジンダル・グローバル大学、5. 慶応義塾大学)

3EV-049-PI

知的好奇心は認知制御を調整するのか

*蔵富 恵 1

(1. 岐阜聖徳学園大学)

選考経過

取りまとめ役の投票前に得票数5が2題、得票数4が1題でした（得票数3は6題）。上位同点2題のうち、上記発表を特別優秀発表賞、残り2題を優秀発表賞としました。

審査グループ：J (4AM)

取りまとめ役：子安 増生 (京都大学)

特別優秀発表賞

4AM-035-PI

「こころ」の概念に関する多国間調査——「こころワールドマップ」の作成に向けて——

*上田 祥行 1、中山 真孝 1、阿部 修士 1、内田 由紀子 1、齋木 潤 1

(1. 京都大学)

優秀発表賞

4AM-019-PG

歩容の美しさと身体動作の認知プロセス——バイオリジカルモーション動画視聴時の美的評価
と脳波事象関連電位の関連——

*林 小百合 1,2、西村 悠貴 2,3、池田 悠稀 2,4、中島 弘貴 5、江頭 優佳 1、請園 正敏 1、
魚野 翔太 1、岡田 俊 1、樋口 重和 2

(1. 国立精神・神経医療研究センター、2. 九州大学、3. 労働安全衛生総合研究所、4. 杏
林大学、5. 長崎大学)

選考経過

最多得票数 6 票の発表が 2 本、5 票が 3 本となりました。6 票のうち研究のスケールの大きさ
から 4AM-035-PI を特別優秀発表賞とし、4AM-019-PG を優秀発表賞としました。